



## 島田 淳

(医療法人社団グリーンデンタルクリニック  
日本大学歯学部総合歯科学分野)

### 『医療面接』

#### <要旨>

顎関節症は、顎関節や咀嚼筋など見えないところに症状があり、原因は患者さんの生活習慣、悪習癖、心理社会的要因など、患者さん自身にあることが多いことから、患者さんが自身の症状とリスク因子の関係を理解し、これを改善できるよう指導することが原因療法となります。このため症状を把握し、リスク因子を見つけて診察、検査、診断そして治療に繋げることが医療面接の役割であり、顎関節症の治療では特に重要となります。本講演では、医療面接の基礎と臨床について解説します。

#### <講演内容>

##### I 医療面接の基礎

- 1) 問診と医療面接の違い
- 2) 医療面接の基本姿勢

##### II 医療面接の臨床

- 1) 医療面接前の準備
- 2) 医療面接の実際

#### <歯科顎関節症認定歯科衛生士研修カリキュラム>

一般目標：顎関節症の診断、治療における適切な医療面接  
および診察を施行するために必要な知識技能、態度を  
修得する

到達目標：

- (1) 医療面接を実施できる  
(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、生活習慣・習癖、  
社会・心理的状況、QOL、質問票)

#### <略歴>

1987年 日本大学歯学部卒業  
1991年 日本大学大学院歯学研究科(補綴学専攻)修了  
1991年 日本大学歯学部助手(補綴学教室局部床義歯学講座)  
1995年 日本大学助手(補綴学教室局部床義歯学講座)  
1999年 東京歯科大学講師(スポーツ歯科研究室)  
2005年~ 医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事長  
東京歯科大学非常勤講師(スポーツ歯科研究室)  
2008年 神奈川歯科大学非常勤講師(かみあわせリエゾン診療科)  
2017年 神奈川歯科大学臨床教授(包括的咬合機能回復外来)  
2020年 神奈川歯科大学特任教授(包括的咬合機能回復外来)  
2023年 NPO法人 日本・アジア口腔保健機構 副理事長  
2024年 日本大学歯学部附属歯科病院 臨床教授

日本顎関節学会(常任理事・歯科顎関節症専門医・指導医)

口腔顔面痛学会(評議員・専門医・指導医)

日本歯科専門医機構認定(補綴歯科専門医)

日本補綴歯科学会(指導医)

日本歯科心身医学会(代議員)



和気 創  
(みどり小児歯科)

『日常生活指導・習癖指導』

<要旨>

顎関節症基本治療の原則は、可逆的、保存的であることであり、自己開口訓練やスタビリゼーションアプライアンスの装着などとともに、患者が保有する顎関節症のリスク因子の抽出と、その因子の是正、管理が重要とされています。リスク因子の中でも是正、管理しやすいものとして日常生活における習慣や習癖などの行動的因子が挙げられ、歯科衛生士がその指導や管理に携わることで治療効果の向上が期待されます。

本講演では、顎関節症治療における日常生活指導、習癖指導での歯科衛生士の具体的な関わり方についてお話しします。

<講演内容>

- I 顎関節症の基本治療
- II 顎関節症に対する治療、管理における日常生活指導・習癖是正

<歯科顎関節症認定歯科衛生士研修カリキュラム>

- ・顎口腔系の習癖を説明できる。
- ・顎関節症の発症メカニズムと症候、継発する病態を説明できる
- ・医療面接を実施できる
- ・生活指導、習癖の指導を行える

<略歴>

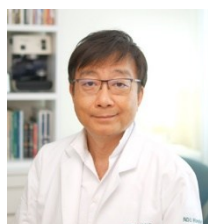
- 2011年3月 日本大学歯学部卒業  
2016年3月 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野修了(歯学博士)  
2017年4月～ みどり小児歯科(神奈川県) 勤務  
新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校 非常勤講師  
2023年4月～ アポロ歯科衛生士専門学校 兼任講師  
2024年4月～ 日本体育大学医療専門学校 非常勤講師  
昭和大学顎関節症治療科 兼任講師  
2026年4月～ 東京科学大学顎顔面外科 非常勤講師

日本顎関節学会(歯科顎関節症専門医, 歯科衛生士活動推進委員会副委員長, 若手部会会員)

日本口腔外科学会(認定医)

口腔顔面神経機能学会(認定医)

日本口腔インプラント学会(JSOI 専修医)



## 原 節宏

(日本歯科大学附属病院総合診療科  
顎関節症診療センター / 口腔顔面痛センター  
一般社団法人日本オロフェイシャルリリース協会)

### 『疼痛が関連した顎関節症の診断と治療』

#### <要旨>

疼痛は顎関節症において患者が訴える最も多い症状といわれています。現在、顎関節症の病態は4つに分類されていますが、そのうちの3つにあたる、咀嚼筋痛障害(I型)、顎関節痛障害(II型)と変形性顎関節症(IV型)の一部が痛みに関連しています。ここでは、診療室で遭遇する可能性が高い「疼痛が関連した顎関節症」の病態を理解し、その診断と治療に歯科衛生士がどのように関わることができるかを解説します。

#### <講演内容>

- I 慢性疼痛が生じるメカニズム
- II 理学療法、生活指導、アプライアンス療法の慢性疼痛に対する効果
- III 薬物療法の慢性疼痛に対する効果
- IV 痛みに対するメンタルケアの重要性

#### <歯科顎関節症認定歯科衛生士研修カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる
- ・顎関節症の発症メカニズムと症候、継発する病態を説明できる
- ・心身医学・精神医学的診察の必要性を説明できる
- ・各病態に対し治療・管理目標を理解し説明できる
- ・インフォームド・コンセントに沿った診療が実施できる

#### <略歴>

- 1990年 日本歯科大学大学院修了(臨床系補綴学専攻、歯学博士)  
日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学教室第2講座 助教
- 2001年 日本歯科大学附属病院 講師 総合診療科医長
- 2002年 デンマーク王立オーフス大学歯学部臨床口腔生理学教室 客員講師
- 2005年 日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授  
顎関節症診療センター センター長
- 2016年 口腔顔面痛センター併任
- 2026年 一般社団法人日本オロフェイシャルリリース協会 理事長

日本口腔顔面痛学会専門医、指導医



## 藤田 宏人

(医療法人社団おおつき会 大槻歯科医院)

### 『顎関節円板障害の診断と治療』

#### <要旨>

顎関節円板障害は顎関節症患者人口の6~7割を占めるとされており、顎運動時の関節雑音、開閉口時の顎関節や咀嚼筋の痛み、開口や閉口時の引っかかりといった最も受診理由となる症状を有する病態です。痛みや顎運動制限が生じると会話や食事などの日常生活の妨げとなるため治療が必要になることが多いです。今回は病態を理解し、診断することで指導や治療に導入できるよう解説をします。

#### <講演内容>

- I 顎関節円板障害の病態
- II 顎関節円板障害の臨床像
- III 鑑別すべき疾患
- IV 指導および治療
- V 専門医紹介のポイント

#### <歯科顎関節症認定歯科衛生士研修カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる(顎関節円板障害)
- ・顎関節症の発症メカニズムと症候、継発する病態を説明できる(顎関節痛、咀嚼筋痛、関節雑音、開口障害、顎運動異常、顎関節退行性変化)
- ・画像検査所見を把握する知識を習得する(パノラマX線撮影法、パノラマ顎関節撮影法[4分割]、CT、MRI)
- ・医療面接、口腔外および口腔内の診察法を説明できる
- ・病態に対し治療・管理目標を理解し説明できる(IIIa、IIIb)
- ・理学療法を理解し、指導できる(物理療法、運動療法、その他)
- ・歯科医師の指示のもと薬物療法の服薬注意ができる(消炎鎮痛薬、鎮痙薬など)
- ・オクルーザルアプライアンス(スプリント)療法の使用法や清掃法を指導できる

#### <略歴>

- 1994年3月 朝日大学歯学部卒業  
1994年4月 奈良県立医科大学医学部研修医(口腔外科)  
1996年4月 奈良県立医科大学口腔外科学講座研究生  
2001年4月 島根大学医学部歯科口腔外科 助教  
2008年7月 医療法人社団おおつき会 大槻歯科医院勤務

日本顎関節学会 歯科顎関節症専門医、指導医



## 川上 哲司

(医療法人恒進會 泉北陣内病院歯科口腔外科)

### 『変形性顎関節症の診断と治療』

#### <要旨>

変形性顎関節症は、下顎頭と下顎窩・関節隆起の軟骨・骨変化を伴う顎関節組織の破壊を特徴とする退行性関節障害である。臨床症状は、顎運動障害、顎関節痛、顎関節音のうちいずれか1つ以上の症状を認め、画像所見で、骨びらん、骨棘、萎縮、皮質下骨嚢胞、骨硬化の1つ以上認められることである。また、鑑別診断を行い他の疾患が否定されていなければならない。治療は、他の病態に対する治療に準ずる。

本講演では、変形性顎関節症の診断と治療において解説する。

#### <講演内容>

変形性顎関節症の診断と治療

#### <歯科顎関節症認定歯科衛生士研修カリキュラム>

顎関節症の診断、治療に必要な基本知識

- ・顎関節症の診断、治療に必要な基本知識を修得する
- ・顎関節症の病態を説明できる。(変形性顎関節症)
- ・画像検査所見を把握する知識を習得する

顎関節症の治療・管理

- ・顎関節症の治療および管理を行うために必要な知識、技能態度を修得する
- ・病態に対し治療・管理目標を理解し説明できる

#### <略歴>

- 1984年3月 神奈川歯科大学歯学部卒業
- 1984年4月 奈良県立医科大学附属病院臨床研修医(口腔外科)
- 1986年4月 奈良県立医科大学附属病院医員(口腔外科)
- 1993年5月 奈良県立医科大学助手(口腔外科学講座)
- 1996年1月 文部科学省在外研究員(アメリカ合州国カリフォルニア大学ロサンゼルス校)
- 1998年4月 奈良県立医科大学講師(口腔外科学講座)
- 2016年4月 奈良県立医科大学非常勤講師(口腔外科学講座)  
社会医療法人社団田北会田北病院歯科口腔外科部長
- 2024年4月 社会医療法人社団田北会田北病院歯科口腔外科嘱託医
- 2025年4月 医療法人恒進會泉北陣内病院歯科口腔外科

日本顎関節学会(歯科顎関節症専門医・指導医)

日本口腔外科学会(専門医・指導医)

日本睡眠歯科学会(評議員・認定医・指導医)

日本口腔顔面痛学会(専門医・指導医)

日本口腔科学会(専門医・指導医)

日本小児口腔外科学会(評議員・認定医・指導医)

日本歯科麻酔学会(認定医)